

# 放射能対策

地域の総力を挙げて

☎放射能対策室（旧勤労青少年ホーム内） ☎25-3720 <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/taisaku/>



▲田植えを前に、放射性セシウムの吸収抑制に有効とされる「塩化カリウム」を水田に散布する農家（4月11日、越河地区）

市では、土壌に蓄積した放射性セシウムの吸収抑制剤として効果を発揮するとされる「塩化カリウム」を、水稲作付け農家全戸に無償配布しました（塩化カリウム購入費は国の交付金を活用）。市全体では水田約1,200畝、2,165戸が対象となります。これを受けて農家では、塩化カリウムを4月～5月の春耕時に10<sup>kg</sup>当たり約20<sup>kg</sup>、穂が出る7月ごろに約10<sup>kg</sup>を散布します。

## 放射性セシウム吸収抑制のため 塩化カリウム肥料を水田に散布します

平成23年12月28日、白石市は国から「汚染状況重点調査地域」の指定を受けました。これを受けて、市では市内を1km四方の網の目に区切り（1kmメッシュ）、詳しく各地域の放射線量を測定しました。その結果は10ページの通りです（山間部は積雪の影響により、現在測定を進めています）。

市では、文部科学省が実施した航空機モニタリング結果とこの調査結果を基に「除染対象区域」を定め、「白石市除染実施計画案」を策定。越河保育園と越河公民館から除染を進めます。除染対象区域以外の地区でも、毎時0・23マイクロシーベル

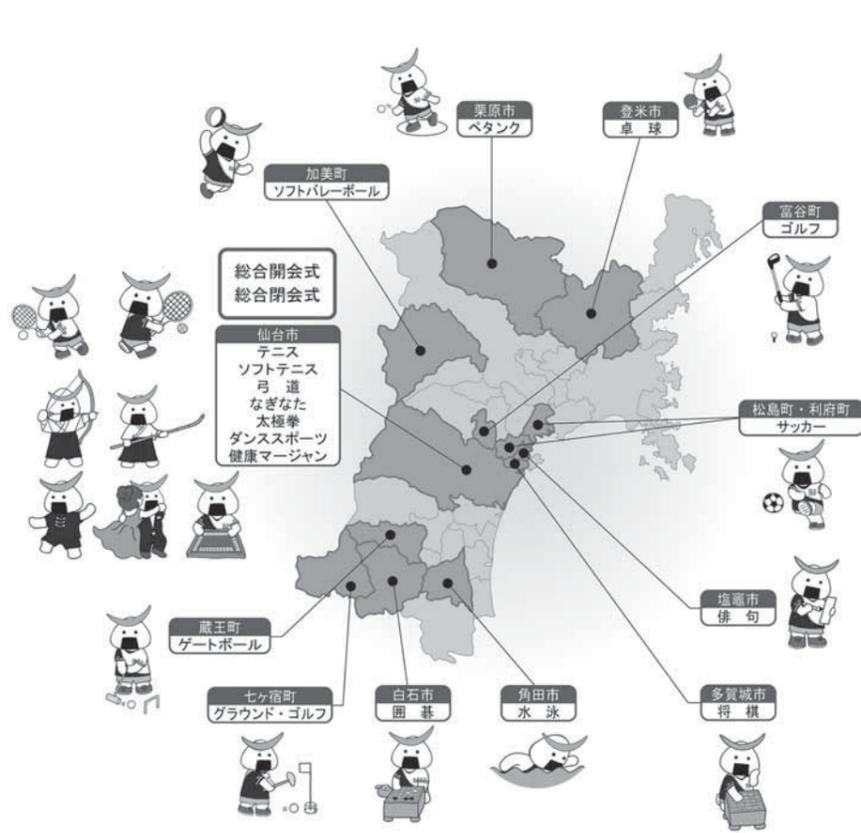
## 1kmメッシュで線量を測定し、「除染対象区域」を設定 越河保育園・越河公民館から除染を開始します

平成23年産米から放射性セシウムが検出された水田土壌を調査したところ、共通してカリウム濃度が低かったことが確認されています。これは、カリウムとセシウムが物理的・化学的性質が似ていることから、カリウムが不足していると代替えとしてセシウムを吸収するためです。

市では、安全・安心な白石米を生産するため、できる限りの対策を取ってまいります。

子ども空間を優先的に進めるため、除染対象区域内であっても民有地などは実施時期が遅くなります。身の回りの線量を低減させるには、市民の皆さんの協力が不可欠です。地域の総力を挙げて、放射能対策に取り組みましょう。

以上の保育園・幼稚園・小中学校・公園は、「子ども空間」として除染を行います。ただし、除染を実施する前に再度、放射線量を測定し、毎時0・23マイクロシーベルト未満の場合は除染を行いません。



**全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）**は、60歳以上の高齢者を中心とした健康と福祉の祭典です。第25回大会は宮城の地で開催。全国から選手やその家族、関係者が訪れます。10月の開催に向け、①健康長寿を見て・ふれて・愉しめる大会、②感動し、意欲と活力が湧き上がる大会、③世代を超えた交流が地域力を高める大会、④心を込めたおもてなしに「伊達」を感じてもらえる大会、⑤宮城の元気な姿と復興の確かな歩みを全国に発信し、感謝の気持ちを伝える大会―を目標に、宮城県全体がひとつとなって取り組んでいます。

第25回全国健康福祉祭 宮城仙台大会 平成24年10月13日（土）～16日（火）  
**ねんりんピック宮城・仙台2012**  
伊達の地に 実れーねんりん いきいきと



## 白石市では「囲碁交流大会」を開催！

●開催日 平成24年10月14日（日）～15日（月） ●場所 ホワイトキューブ

- ①囲碁対局 2日間で4回対戦して勝敗を競います。
- ②プロ棋士の指導対局 プロ棋士が一度に数人を相手に対局。一般の方も参加できます。
- ③プロ棋士と公開対局 プロとアマチュア棋士の対局を別のプロが公開解説します。
- ④囲碁クイズ クイズに挑戦して賞品をゲットしましょう。
- ⑤健康づくり教室 保健師などが健康相談や機器で健康チェックを行います。
- ⑥趣味の作品展 市内の高齢者等の丹精込めて制作した作品を展示します。
- ⑦おもてなし企画など 市内の小中学生・高校生のアトラクションやヘルスメイトによるおもてなしなどを行います。



※写真はいずれも平成23年9月に開催したリハーサル大会の様子